



リバーフロントの都市デザイン

高度経済成長期、リバーフロントでは都市化の進展等に伴う水質の悪化、親水性の低下等、さまざまな問題が顕在化しました。

やがて、昭和60年代以降には水と緑の貴重なオープンスペースとして、また、都市景観形成に果たす役割等が再評価され、昭和62年度には「高規格堤防整備事業」、「ふるさとの川モデル事業」及び「マイタウン・マイリバー整備事業」がスタートしました。これらにより、治水施設の整備を促進することと併せて、地域の特色を活かしつつ、「まちづくり」と一体的に水辺空間の整備を進めていこうという機運が高まり、多摩川、荒川、隅田川等、首都圏のリバーフロントにおいても積極的な開発が進められてきました。

その後、約20年が経過し、リバーフロントの都市デザインはどう変わったのでしょうか。河川管理者・研究者としてリバーフロントの開発に携わった松田氏と、観光事業者としてリバーフロントを見つめてきた守谷氏をパネリストに迎え、リバーフロントの都市デザインの問題と今後について語り合います。

日時

2007年10月2日(火) 18:30~20:30

内容

■パネルディスカッション (18:30~)

語り手 松田 芳夫 氏

中部電力株式会社顧問。前財団法人リバーフロント整備センター理事長、元国土交通省河川局長。

語り手 守谷 慎一郎 氏

東京都観光汽船株式会社代表取締役社長。

進行役 須永 倭子 氏

株式会社TALLO都市企画取締役。NPO法人江東の水辺に親しむ会理事長。JUDI代表幹事。

■意見交換 (20:00~)

※ひとことサロン終了後、懇親会を予定しております。

会場

建築家会館本館 大ホール

渋谷区神宮前2-3-16 TEL 03-3401-6281

参加費・申込み

■参加費 会員・学生：無料 非会員：500円 別途飲み物代：200円
(懇親会費は別途)

■申込み 参加者名、ご所属先、ご連絡先をご記入の上、FAXまたはEメールで下記まで。
ブロック幹事：山川宛 (有限会社ワイズ環境デザイン室)
FAX 03-3204-7794
E-mail ys.land.design@nxck.ftbb.net